

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|--|---------|-------------|
| 事業者名 | 株式会社 恵み野介護サービス グループホームだんらん 1F | 評価実施年月日 | 平成21年 8月13日 |
| 評価実施構成員氏名 | 安部安耶子 石村さゆり 伊藤愛子 鎌田大貴 杉村賢司 | | |
| 記録者氏名 | 坂本雅子 | 記録年月日 | 平成21年 8月13日 |

北海道

は外部評価項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|---------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念の共有 | | | |
| <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | <p>「今まで暮らしてきた家族環境を大切に～ゆっくり、一緒に、楽しく」と言う事業所の理念を基本にスタッフの話し合いの中でスタッフ理念もつくり、ご入所者様との生活の中で、スタッフが日々確認しながら支援につとめている。</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | <p>管理者とスタッフが、理念をよく理解しており、又携帯できる大きさの物を常に持つ事で理念をいつでも再認識できるようにしている。</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | <p>ご家族様には入居時等の機会に、地域の方には運営推進会議の中で説明させていただいている。 GH玄関やスタッフルームの中に理念を掲げいつでも見ていただけるようにしている。</p> | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | <p>ご入居者様との散歩時には必ず挨拶をしたり、スタッフが仕事の行き帰りにお会いした近所の方には挨拶するよう心がけている。</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | <p>運営推進会議に参加されている町内会の会長様より老人会の行事や地域活動の情報を得て、地元の方々と交流している。 又、当GHで開催している夏まつりに地域の方々にも参加していただいている。</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | <p>実習生の依頼は必ず受け入れて認知症ケアの啓発につとめている。 認知症のサポーター研修を地域の方々に参加していただく。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|-----------------------|---------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> | | |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | | |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|---------------------------------|
| 13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 普段のご入居者との会話や、普段の様子からその方の思いを取り入れる努力をし、スタッフ間で話し合いを行いケアに取り組んでいる。 | | |
| 14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | ご家族様の面会時には管理者、スタッフがご入居者の状況や受診等の報告を してる。 金銭管理は個々に出納帳をつくり、ご家族様に領収書を見ていただきサインを いただく。 | | |
| 15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ご家族様が面会時には気軽に意見を出していただける様に心がけ、又意見箱 を玄関に設置している。 意見箱には今のところ意見はない。 | | |
| 16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 月一度のスタッフ会議や、日々の申し送りの中で、スタッフの意見や提案をさく ようにしている。 スタッフも目標をもち、スタッフ間でのコミュニケーションを大事にして、意見を言 いやすい環境をつくっている。 | | |
| 17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | ご入居者様の状況に合わせ、時差出勤の体制を組んでいる、1Fユニットは介護型の為、パートを含め厚めの人員体制になっている。管理者は看護師の為、ご入居者様の緊急の為、通常のシフトには入っていない。 | | |
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 離職を無くすよう努力しやむを得ないスタッフの異動や離職には引き継ぎをしっかりと行かない、ご入居者様に不安を与えないように配慮している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|-----------------------|--------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | | |
| 22 | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-----------------------|-------------------------------|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 相談を受けた際、ご本人様とご家族様が必要としている支援を理解し、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入居する前にご本人様が見学に来ていただきホーム内の雰囲気に馴染んでいただけるよう工夫し、ご家族様との相談しながら行っている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 一緒に食事の準備をしたり、洗濯物、たたみや掃除、体操散歩など、共に過ごしながら昔のお話を伺ったり、学んだりし、支え合う関係を築いている。 | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 面会時、日常の様子を伝えたり、実際に共に生活している様子を見ていただいたりし、お茶を飲みながらご家族様に表現できるよう支援している。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | ご本人様のご家族様に対しての思いを理解してその思いをご家族様に表現できるように支援している。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ご本人様が大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、その思いを大切に表現するように支援している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | ご利用者様同士の関係を常に把握し、体操やコミュニケーションが多くはかれる場をスタッフが把握し支え合うようにつとめている。 | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | サービスが終了しても、継続的な関わりを必要とするご利用者様がご家族様には関係が断ち切れいない、お付き合いを大切にしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常生活でのご本人様一人一人の思いや暮らし方や要望などを理解し、毎日のミーティングや月1回の会議でさらに確認をし深めている。 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | センター方式で情報収集やアセスメントし、またはスタッフ間の情報交換や、ご家族様面会時にご本人様との会話の中から把握するように努めている。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 毎日のミーティングで一人一人の状況を確認し午前中バイタル測定を行いその他の心身の異変にも気づくようにつとめている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 毎日のミーティングや月1回の会議を行い又、必要に応じてアセスメントを行い、ご本人様、ご家族様、スタッフの意見を反映した介護計画を3ヵ月毎に作成している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|---------------------------------|
| 37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 介護計画は3ヵ月毎に見直し、それ以前の状態など変化が生じた場合、介護支援専門員の監視のもと必要な関係者との話し合いの場を設け新しい計画作成を行っている。 | | |
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 介護計画に沿った実践結果、気づいた所等個別ファイルに記入しミーティング等でその情報を共有しその実践内容等をその方々の変化を介護計画の見直しを活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | ご本人様やご家族様が相談したり、希望に応じて福祉用具の説明をしながら購入したり、病院受診時には移送サービスを活用して支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | ボランティア活用により民謡、踊り、生け花、音楽療法を受け入れたり、救急救命研修や消防訓練等を行い協力しながら支援している。 | | |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | 他にサービスを利用したいという希望がなかったが今後希望があれば支援していく体制がある。 | | |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 入居状況、入居依頼等の相談等がある。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。 | 管理者が看護師であるので、日常の健康管理及び気あるに相談しながら、医療関係者と連携をとり日常の健康管理を行っている。 | | |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 受診の際、認知症に詳しい医師と相談しながら、ご入居様が安心して治療を受けられるよう支援している。 | | |
| 45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 管理者が看護師であり、日常の健康管理、医療との連携を図り支援している。 | | |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院の際、情報交換や相談を密に行いご入居様が不安にならないよう過ごしていただける支援を行い、早期退院にむけ協働している。 | | |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 往診医を確保していないのでホームでの看取りは困難であるが、終末期は協力医院での対応になることを、ご家族様と話し合っている。 | | |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 最後まで本人の能力を見極め支援を行い、また、今後予測できる事を話し、変化に備えた準備を行っている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|---------------------------------|
| <p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>住み替え時は不安定になりやすく、ご家族様、ご本人様、ケア関係者間で十分な話し合いや、情報交換を行い少しでも、ご本人様のダメージを少なくなりようつとめている。</p> | | |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | |
| <p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>プライバシーに関する声掛けは小声にする等、見く出した言葉使いや対応、自室入室の際のノック、又、ご入居者様の誤認に対し否定的な発言をせず、尊重した対応をスタッフ一人一人心がけている。</p> | | |
| <p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>ご入居様の思いや楽しみが引き出せるような環境作りやゆっくりとしたペースで対応し、自ら決定できるよう支援している。</p> | | |
| <p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>ご入居者様のペースを大切にし、希望を察知できるよう日頃の会話を大切にしている。</p> | | |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| <p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>一人一人の個性を大切に身だしなみや、お洒落ができるよう支援し、ご本人様とご家族様共に相談しながら、月1回の床屋訪問の利用をしている。</p> | | |
| <p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>日頃の会話の中で食べたい物を聞いたり、季節感を取り入れた、彩り良い盛り付けを工夫している。又、その方に合わせた調理方法をし、ペースに合わせて一緒に準備、盛り付けを行っている。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 個人の嗜好を把握し、おやつや食事内容を変更している。又、今まで喫煙されていた方が現在Dr.より禁止され禁煙されている。 | | |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 一人一人の排せつパターンを理解し、その方々の習慣や様子を見て声掛けし自立に向けた支援をしている。又、失敗してしまった時は、他の方々に知られないようにパット等を利用し、プライバシーの保護につとめている。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 自らご希望される方がほぼ居ないため、スタッフから声掛けて入浴していただくが、希望される場合は希望に添って入浴。夜間帯はスタッフの人数調整がつかず行っていない。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | ご本人様の自由なペースで過ごしていただいているが、夜遅くまで起きている方にはさりげなく時間を知らせたり、翌日の生活に差し障りのないように支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | ご入居者様の生活歴等を知り、食事の準備や洗濯物のたたみ等を行っていただく。又、楽しみやリフレッシュできるよう体操に参加していただいたり、天気の良い日には、散歩に出かけるなど、喜びある日々を過ごせるよう支援している。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 金銭管理の困難な方はスタッフがお預かりし、その方の希望や力量に応じて所持していただき買い物に使えるよう支援している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 冬期間は外出の機会が減ってしまうがその方の体調に気を配り散歩や買い物、ドライブにお誘いし気軽に楽しんでいただけるように支援している。 | | |
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 季節に応じてお花見や紅葉観光等行事としての外出の機会を設ける。又、日常会話の中やご家族様から情報を得て、外出先として出かけられるよう考慮する等の支援をしている。 | | |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | スタッフルームにある電話は、気軽にご利用できるよう設置しており、希望時にはすぐ電話していただく。又、遠距離のご家族様からの荷物や手紙が届いた場合には、ご本人様から電話していただくなど、ご本人様の感謝の気持ちを伝える支援をしている。 | | |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | ご家族様、知人、友人等気軽に訪問でき、居心地良く過ごしていただけるよう椅子を置いたり、飲み物を取り談話していただけるように支援している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 24時間体制で見守りし、それでも不十分でケガや事故の可能性がみられる場合、対策を話し合い、拘束をしないケアを考え行っています。 | | |
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 日中は鍵をかけず、いつでも外へ出られるようにしています。スタッフ見守りしたり、玄関横には居宅サービスの事務所があり、外出する方がいればわかるようになっている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|---|
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 常にリビングにはスタッフ1名がおり、その他のスタッフも台所や、居室の様子が確認できるところに分散し、立ち上がりや歩行不安定な方等の様子確認を行ったり、一緒に過ごす等で対応している。 | | |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 薬品や洗剤は、ご入居者様の手の届かない場所に保管。調理器具等も常に数などを確認し危険を防止するよう対策を行っている。 | | |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 日頃よりヒヤリ・ハット報告書や事故報告書を作成し、全員で防止方法を検討し役に立てている。又、一人一人の状態を把握し、危険を予測しその対策を検討し事故防止に取り組んでいる。 | | |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 緊急マニュアルを作成し各自が確認。スタッフは2年に1度の救命講習を受けるようにし、応急手当の方法を学んでいる。 | | |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 火災については年に1回、日中、夜間を想定し避難訓練を実施している。又、その際に消火器の使用方法を実践で学んでいる。 | ○ | 地震、水害等についての対策 その際の避難場所、経路の確認が不十分である。 |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。 | ご家族様が面会に来られた際など、体調の変化や心身の状況をお伝えしそれに伴った予測できるリスクをご説明し、その対応策を話あっている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--------------------------------|
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎朝バイタルチェックを行い、その日の勤務者が把握し異常のある場合は状況を小まめに観察、詳細を記録し看護師へ報告、対応方法の検討を行っている。 | | |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 病院より処方された薬の説明書をファイルし、スタッフ全員が薬の内容、用法を常に確認している。薬の変更があった場合等は服用後の変化など詳細に記録する様つとめている。 | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 一人一人便秘の原因を考え、それに対して水分や運動量を増やしたり、ヨーグルト等の乳酸菌のある食品を多くとってもらい、便秘予防につとめている。 | | |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 毎食後、自力又は援助のもと歯磨き、義歯の洗浄を行い、磨き不十分な時には声掛けや介助を行い清潔にさせていただく。義歯使用者は週に2回ポリドント消毒し、不潔にならないよう、気を付けている。 | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 日常より献立の見直し、栄養バランスには注意し、摂取状態を把握し不十分である際は補助食品なども使用している。又、一人一人の好みに応じて食品の変更を行うなど、食べてもらえる様工夫している。水分も小まめにすすめ、量の把握を行い、摂取しやすい様トロミをつけ | | |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 日常より手洗いうがいに努め季節の変わり目や風邪などの流行時には、特にスタッフ同士で、声を掛け合いながら感染症マニュアルの確認を行い感染症予防を行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-------------------------|--------------------------------|
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 毎日、まな板や刃物ふきんの漂白を行っており、ふきん等は小まめに新しい物に交換している。 食材は毎回新鮮な物を使用し、残っても早めに使用するよう注視している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 建物は温かみのある配色をし、スロープと階段の2つを設け、夏には花を植え、冬にはイルミネーションを飾り親しみやすく、安心して出入りできるように工夫している。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 共同の空間には、安心して生活できるような調度や設備にしており、ご入居者様にとって日常的な音、又はカーテン等で光の調整をし、生け花を生けたり、季節に応じたものを取り入れる等、快適に過せるよう工夫している。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングテーブルで皆さんと一緒に体操を楽しまれたりソファに座ってテレビや新聞を見られたり、うたた寝をしたりと、思い思いに過ごしていただいている。 | | |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご入居者様が慣れ親しんだ家財を持参していただくようにし追加する際には、ご家族様と相談し好みのものを用意していただくなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | トイレ内の尿汚染パットは新聞に包んで処理する。 尿汚染はすぐに清掃する等工夫し、又、換気につとめ、温度調節はご入居者様の状況に応じて小まめに行っている。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-----------------------|---------------------------------|
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。 | 建物内部に手すりを設置し、不安定な歩行状態の方でも安心して歩行できるようになっている。又、全フロアバリアフリーになっており、歩行器の方など、安全に生活が送れるようになっている。 | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 各部屋には雰囲気をごわさない様な表札をつけたり、トイレの表示を大きくしたり混乱を防ぎ自立して暮らせるように工夫している。 | | |
| 87 | ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 夏場は畑作りや花を植え、そのお手伝いをさせていただいたり、物干し場を設置し一緒に干したり、取り込んだりしている。又、ゴミ捨てを一緒に行ったり、外回りを散歩したり、ベンチに座って夕涼みをしている。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)